

平成 30 年度 第 4 回 C O C 実施本部会議 議事録

平成 30 年 7 月 11 日 (水)

18 : 04 ~ 18 : 27

場所 : 本部大会議室

出席者 : 清水学長、齋藤教育開発センター長、橋本学生部長、大島研究開発推進センター長、木村局長、森企画部長、山村学生支援部長、中井教務担当課長

【議 題】

清水学長の求めに応じ、齋藤教育開発センター長より説明がなされた。

1. C O C 学修成果評価アンケートの実施について

- ・科目 I : 7 月 18 日 (水) 3 講時 実施
- ・科目 IV : 7 月 20 日 (金) 4 講時 実施

質問は全部で 19 項目あり、「認知的領域」、「情意的領域」、「技能的領域」の区分で学修成果のアンケートを行う。これは、学生たちが自分でどういう力が身についたかを評価するというものである。

審議の結果、異議なく了解された。

2. 第 3 回『伊勢志摩定住自立圏共生学』運営会議延期について

清水学長の求めに応じ、齋藤教育開発センター長より説明がなされた。

延期する日時 : 平成 30 年 7 月 19 日 (木) 18 時 ~

今年度は 6 回開催の計画であるが、今月 19 日開催予定の会議において、具体的な議題がないということで延期をする。9 月のシンポジウムに向けて日程を調整したい。

審議の結果、異議なく了解された。

3. C L L 活動について

清水学長の求めに応じ、齋藤教育開発センター長より配付資料に基づき説明がなされた。

①新規

- ・「子どもと家庭の応援団」

実施主体 : 駒田ゼミ (教育学部) ・土谷ゼミ (教育学部) ・灰谷ゼミ (現代日本社会学部)

担当教員 : 灰谷 先生

明和町をはじめ伊勢志摩圏域の市町を中心に、子どもの居場所や親子交流の場等、保育・教育・福祉の各視点を持つ学生たちが、主体的に提案・提供していくことで、子どもと家庭の諸問題の解決手段のひとつとなることを目指す活動である。基本的にはゼミで行う。

②継続（活動名および担当教員変更）

・「伊勢市地域福祉計画・活動計画に関するリサーチ及びコミュニケーション、地域カルテ作成」

実施主体：社会福祉法人 伊勢市社会福祉協議会

担当教員：現代日本社会学科 福祉コース教員（代表：鷗沼先生）

次期「地域福祉計画・活動計画」を策定するにあたり、現在の計画の進捗状況を確認しながら地域で取り組まれている活動場所に出向きインタビュー方式で参加者や活動者へ状況を調査し、集めた情報を集約する。

③参加学生（学校行事参加者）追加

新たに14名がCLL活動に参加する。学校行事に認定されると保険が1日目から適用される。

④その他

・皇學館みらい対話団「SNS利用に関するアンケート」実施

「皇學館みらい対話団」は、課題について様々な事柄を話し合うCLL活動である。今回のアンケートは、9月28日開催する第15回セッションテーマである「SNS利用実態」について調査する目的である。

このアンケート調査については、既に7月4日の学生委員会にて承認いただいている。

審議の結果、異議なく了解された。

4. 第4回シンポジウムの準備状況について

清水学長の求めに応じ、齋藤教育開発センター長より配付資料に基づき説明がなされた。

平成30年9月9日（日）皇學館大学621教室

I部：セレモニー（13：30～13：45）

II部：シンポジウム（13：50～15：20）

III部：パネル交流会（15：30～16：00）

司会進行等を学生に任せ、学生の活動が全面にできるように組み立てする。

CLL活動を経験あるいは伊勢志摩定住自立圏共生学を受講した、そして現在、自治体職員あるいは企業に勤務する卒業生に、在学中の学びが具体的に今の仕事にどう生かされているか、繋がっているか、などコメントをもらえるとよいのではないかと考える。シンポジウムに足を運んでもらい、観客としてフロアで参加してもらいたいことを考えたい。

パネル交流会は、CLL活動の紹介及び自治体からの紹介があった地域活動をパネルで展示する。

審議の結果、異議なく了解された。

5. 平成 31 年度入学準備プログラム実施計画（案）

清水学長の求めに応じ、齋藤教育開発センター長より配付資料に基づき説明がなされた。

昨年度から A0 課題発見・解決人材選考を実施しているが、合格者に対して入学準備プログラムを用意している。具体的な内容として、「地域活動を行いその報告をする」という課題である。昨年度からの変更点は返却を 3 月 5 日に設定した点である。また、提出された報告を COC 担当教員 5 名で回覧するのだが、返却する際のコメントが、昨年度は厳しすぎるものがあったため、今年度についてはコメントの付け方についても調整し行いたい。

審議の結果、異議なく了解された。

6. その他

特記事項なし

【報 告】

1. 平成 30 年度自己点検・評価および外部評価委員会（5 月）について

清水学長の求めに応じ、齋藤教育開発センター長より配付資料に基づき報告がなされた。

外部評価委員からの質疑応答の中で課題等の指摘は、今年度中に解決できるよう対策をしていきたいと考える。

2. その他

問) COC 事業も最終年度を迎え、平成 31 年度以降をどう大学として継承していくか？

答) 活動の地域を、伊勢志摩圏域だけでなく県内全域に広げていきたい。問い合わせもあるため、それに応えたい。大きな変更点であり発展の要素となる。

平成 30 年度 第 5 回 COC 実施本部会議は、平成 30 年 9 月 19 日(水) に本部大会議室で開催されることが確認された。